

「おひとりさま」から「おたがいさま」へ

知識と技と資源とを持ち寄る社会技術の開発

■プロジェクト全体の目的

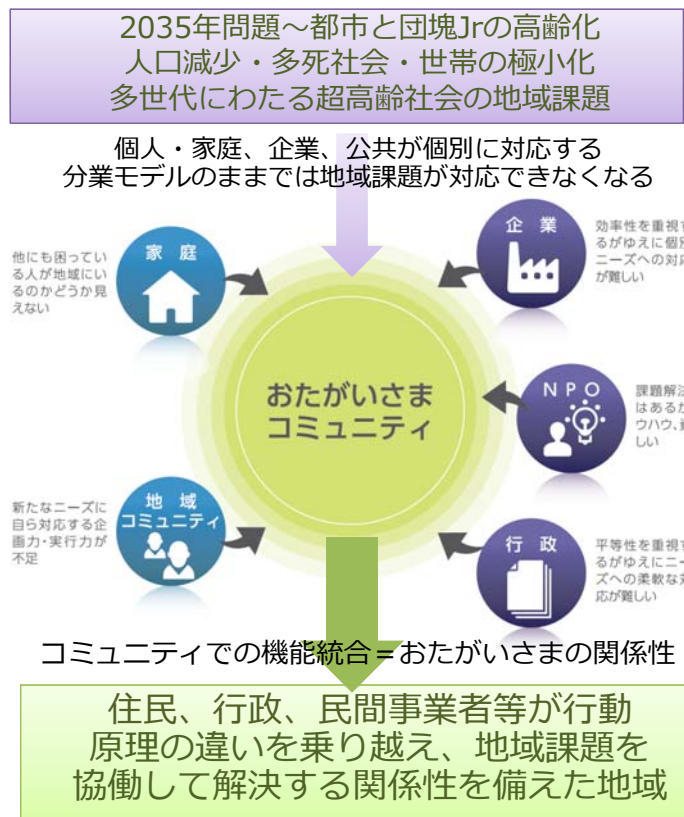
- 2030年代を見越した住民をはじめとする様々な主体による「おたがいさまコミュニティ」形成・運営を支援する「サポート技法」の開発

■達成目標

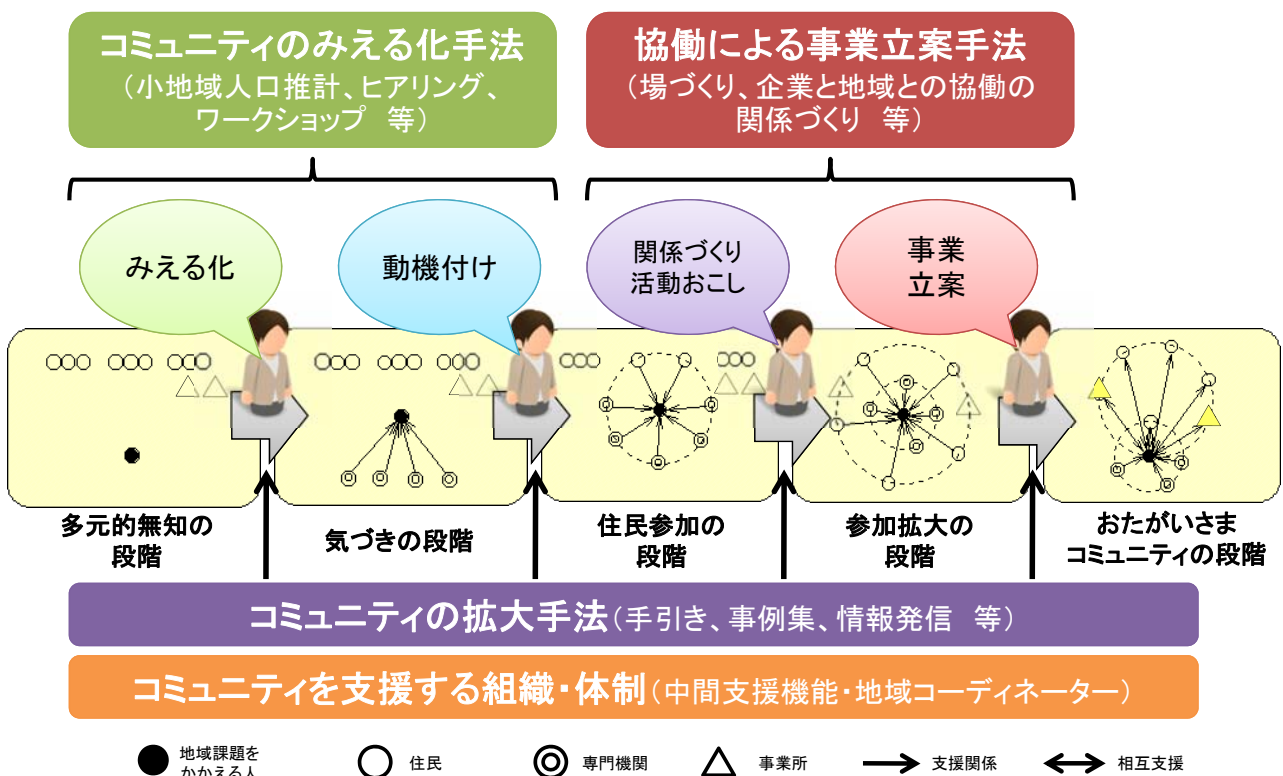
- 「コミュニティ形成のサポートプログラム」の試作・評価
- 「コミュニティ支援ネットワーク体制」の試作・評価
- (1)(2)を他地域で汎用可能なモデルとして開発

■研究の評価項目

- 開発したツール・プログラムの適切性の評価（アウトプット評価、プロセス評価）
- 研究からステークホルダーへの影響評価（コミュニティの変容、アウトカム評価）



「おたがいさまコミュニティ」を創る サポート・プログラムの必要性



主要な研究体制

■ 研究実施団体

特定非営利活動法人アジア・エイジング・ビジネスセンター (AABC)

- 福岡・日本・アジアのエイジング（高齢化）問題に取り組む人々との連携やその活動の協力支援を行う。高齢化問題に関する調査・提言・モデル事業の実績多数

公益財団法人九州経済調査協会

- 九州・沖縄・山口をエリアとするシンクタンク。地域・産業調査の実績があり、地場企業とのネットワークも豊富

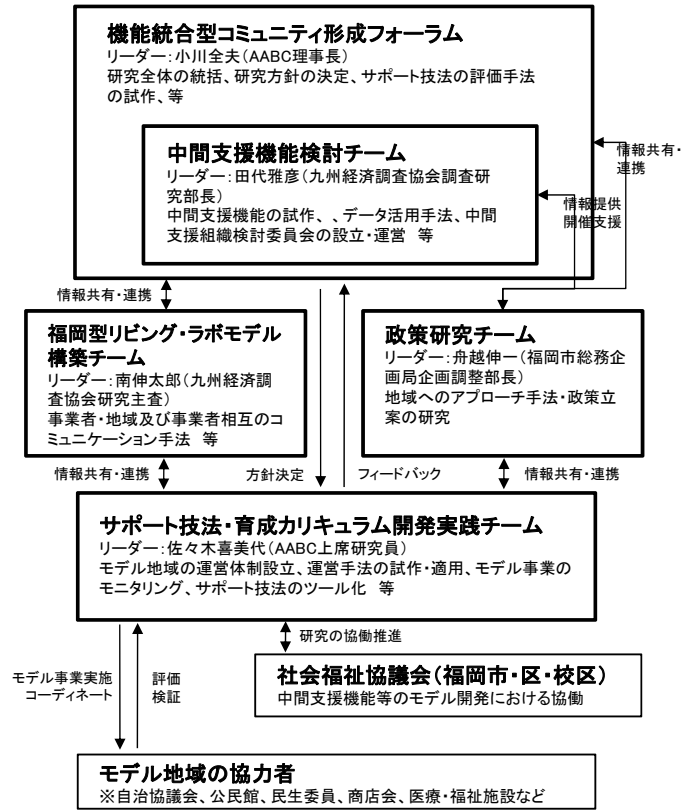
福岡市役所（企画調整部）

- 本研究PJと共助の仕組みづくり、超高齢化対応での連動を視野に共同研究

■ 研究協力団体

福岡市社会福祉協議会

- 研究終了後の展開にむけて、中間支援機能を担う組織として研究グループと協働



モデル地域の状況

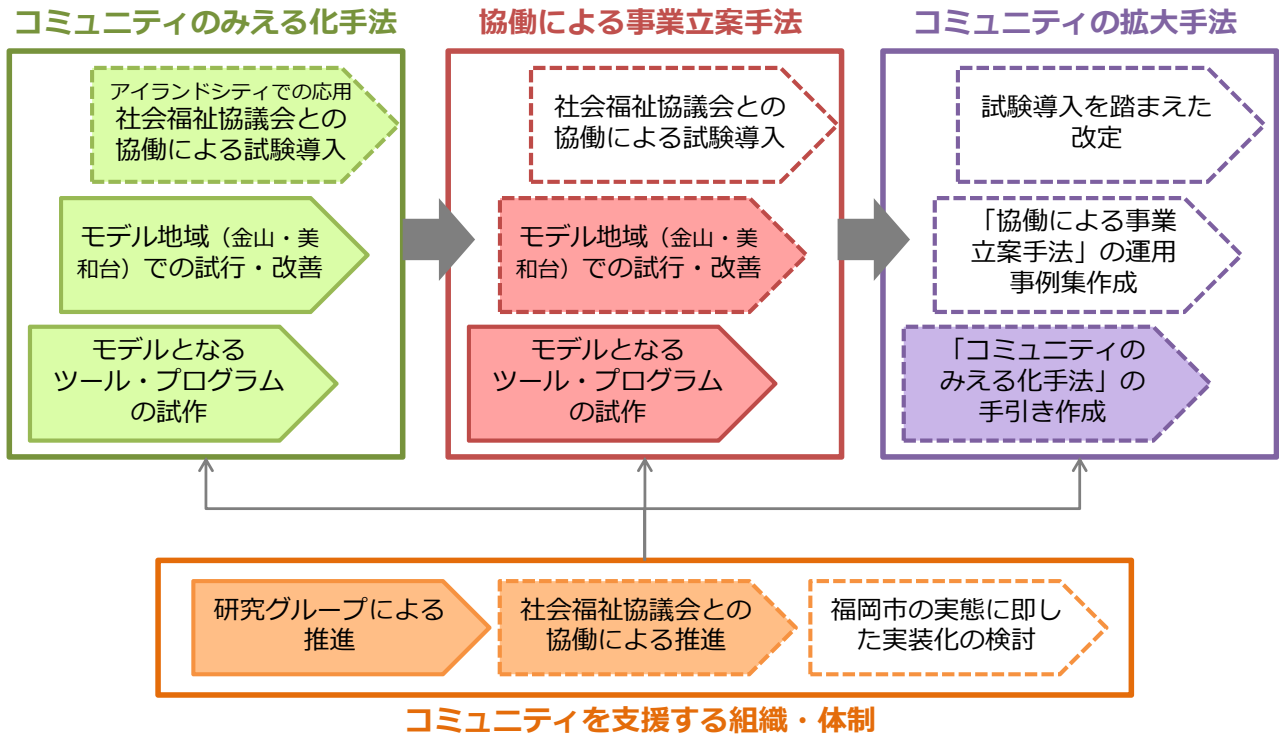
地域名	選定の観点			
	住宅開発の状況	人口の流動性	コミュニティの状況	高齢化の状況
美和台地域 	丘を切り開いて造成された開発後40年経つ、郊外型の戸建中心のエリア	低い (多少の若年就業者層の流出、若年ファミリー層流入がある)	地縁コミュニティの結束が強い地域	(2010) 22.3% ↓ (2030) 30.9%
金山地域 	丘を切り開いて造成された開発後40年経つ、郊外型の戸建・集合住宅 (UR開発) 混在エリア	高い (単身者・ファミリー・学生の5年以内の転入出が多い)	地縁コミュニティの結束が弱い地域	(2010) 25.5% ↓ (2030) 33.6%
アイランドシティ 	埋立造成の新開発エリア (約10年、開発中) 戸建・集合住宅混在エリア	高い (流出少なく、今後さらに新規住民の流入予定)	地域マネジメントを導入、地縁団体は未組織。多数のモデル事業を展開	(2010) 3.4% ↓ (2030) 上昇

● **事業運営型コミュニティ形成モデル**
 「地域応援カード」を媒介とした、事業者が地域に協力する仕組みづくり
 ・地域・事業者による協働企画の立案
 ・NPOによる事業運営の体制づくり
 【公民館/自治会/各種団体/地域密着型の事業者】

● **地域拠点型コミュニティ形成モデル**
 ・多様な主体が関わる地域カフェづくり
 ・ニーズのみえる化と、活動発足を促す仕組み (カフェ×〇〇、振返り会 等)
 ・事業者との連携トライアルプログラム
 【校区社協/公民館/自治会/区役所/事業者】

● **将来の地域の高齢化に向けたコミュニティの関係性分析**
 ・上記2地域のアセスメント手法を応用したステークホルダー分析
 ・地縁コミュニティが弱い場合のコミュニティ形成モデルの考察

研究の実施フローと進捗状況



コミュニティのみえる化手法

モデル事業でのアセスメント・動機付けのプロセス・ツールを手引きに取りまとめ

- 地域コーディネーターが用いるツール
- 社協CSWや公民館主事などを地域コーディネーターとして実証実験
- モデル地域での知見等をもとに、現在手引き（仮案）を作成中。試験導入を通じて改善を加えていく予定

おたがいさまコミュニティ
地域コーディネーター手引き
その1 “コミュニティのみえる化手法”（草稿）



発行：特定非営利活動法人アジアン・エイジング・ビジネスセンター (AABC)

はじめに

A データを「伝える」

A-1 統計データをまとめる

A-2 統計データを伝える「エイジング・イマジネーション・ゲーム」

B ひとと「会う」

B-1 キーパーソンのリストをつくる

B-2 キーパーソンに話を聞く

B-3 キーパーソンについてまとめる

B-4 キーパーソンたちの地域での関係をまとめる

C まちを「歩く」

C-1 まちを歩く

C-2 生活スタイルを調べる

D テーマを「決める」

D-1 地域課題や資源をまとめる

D-2 外部の視点を取り入れる

D-3 キーパーソンの話もまとめる

E 地域で「考える」

E-1 地域の人々と一緒にはじめる

E-2 「おたがいさまコミュニティワークショップ」をする

0) はじめに

1) ワークショップの準備をする

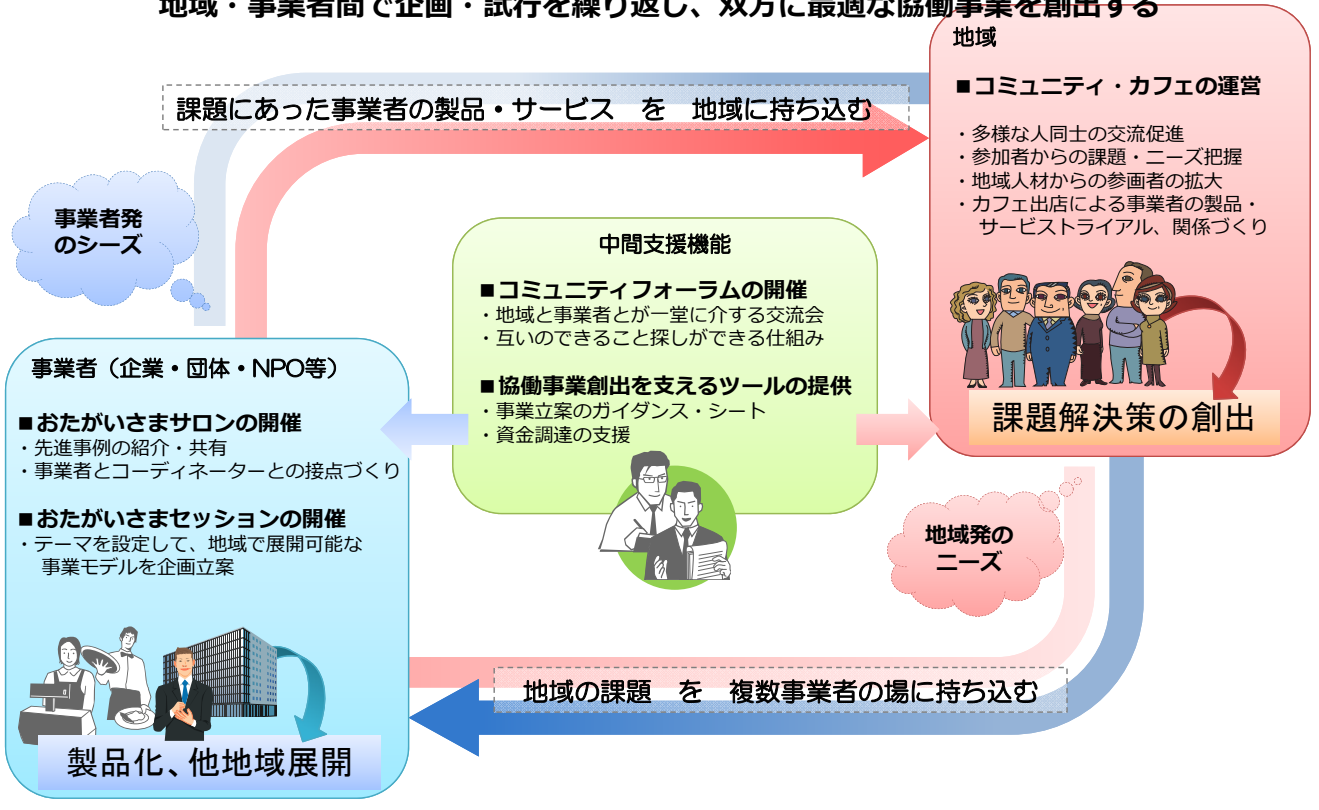
2) ワークショップを実施する

3) 「ふりかえり」をする

さいごに

協働事業立案の各種プログラムを「福岡型リビング・ラボ」モデルとして統合化

地域・事業者間で企画・試行を繰り返し、双方に最適な協働事業を創出する



中間支援機能・地域コーディネーター像

